

障がいのある方の 運動・スポーツ活動実態調査

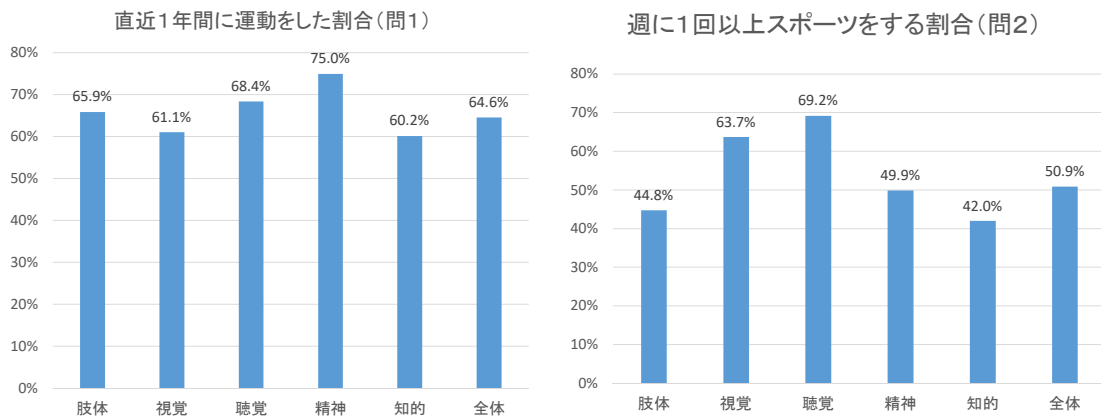
回答状況

(回答数 161/300件 回答率 53.7%)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	無回答	合計
男性	7	10	20	16	11	9	11	0	84
女性	5	10	16	14	11	8	8	3	75
無回答								2	2
合計	12	20	36	30	22	17	19	5	161

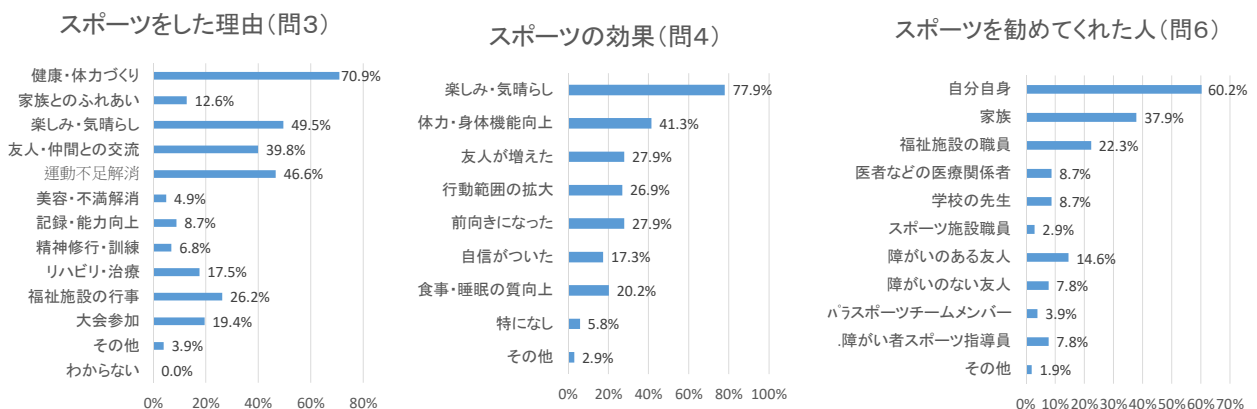


スポーツをする



- ・障がいの種別に関わらず、約半数が週に1回以上スポーツをしている
- ・障がいのない方と比較しても運動頻度にそこまで大きな差は感じられない

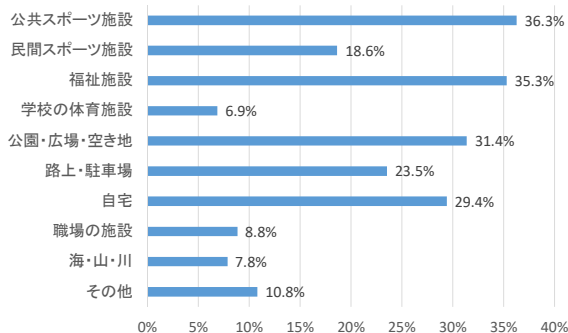
スポーツをするきっかけ



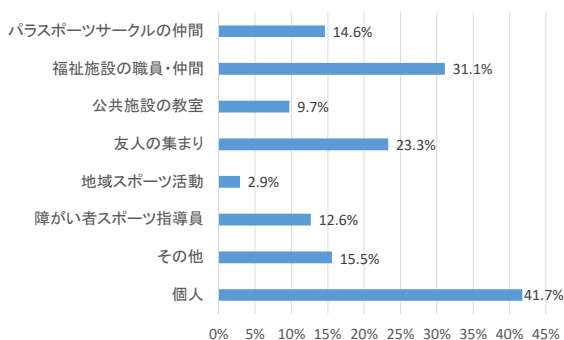
- ・障がいの有無に関わらず、健康づくりや楽しみ・気晴らしのためにスポーツをする人が多い
- ・自身の意見でスポーツを始める人が圧倒的に多い
⇒本人にスポーツの有用性を感じてもらう機会を作ることが重要

スポーツの実施状況

どこでスポーツをするか(問5)



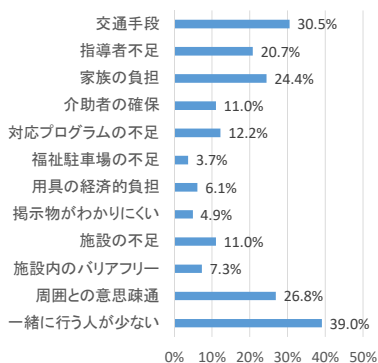
誰とスポーツをするか(問7)



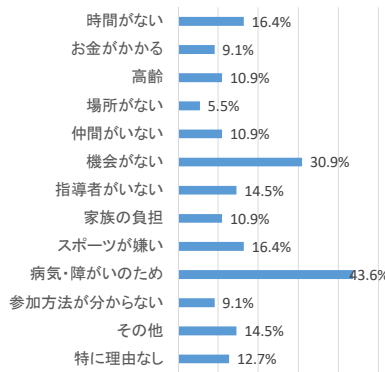
- ・公共施設や福祉施設を利用する人が多い
- ・個人に加えて、福祉施設や友人、パラスポーツサークルの仲間との実施が多い
- ⇒障がいのある人にとってはみんなで楽しんで行える内容が参加しやすい

スポーツする上での課題

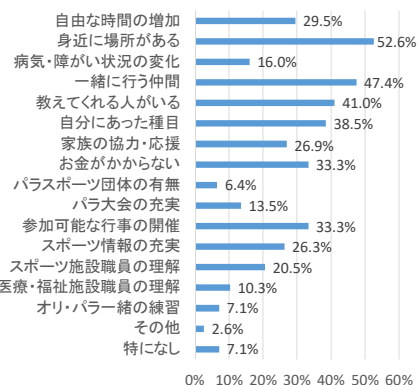
スポーツをする際の課題(問8)



スポーツをしない理由(問9)

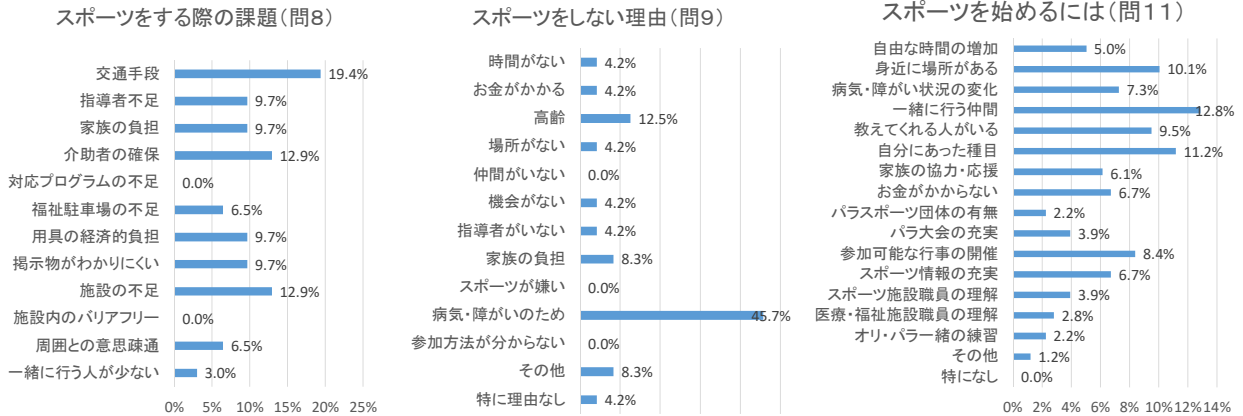


スポーツを始めるには(問11)



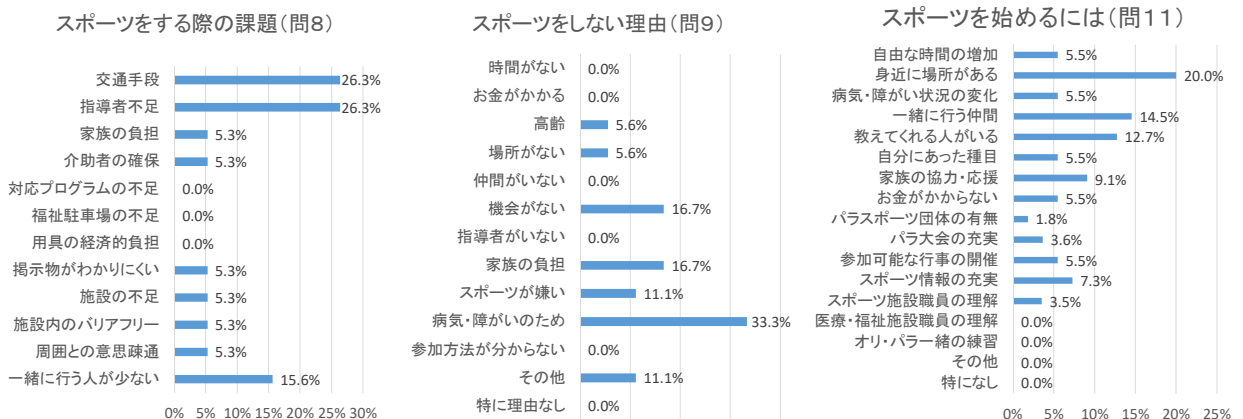
- ・スポーツをする際の課題としては、交通手段・身近な場所があること、一緒に行く人がいないことが多い
- ・スポーツをしない理由としては、病気・障がいの他、機会がないことが多い
- ⇒参加可能な行事の実施がスポーツ実施率の増加へのカギ

① 肢体の障がい



- ・交通手段や介助者の確保に不便を感じている
- ・自分に合った種目であることもスポーツをする際の重要な要素となる

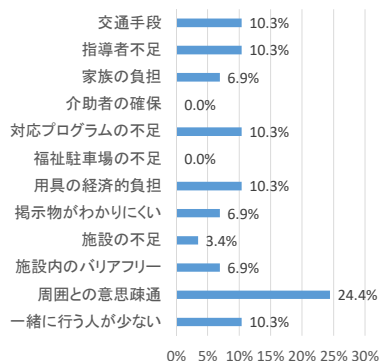
② 視覚の障がい



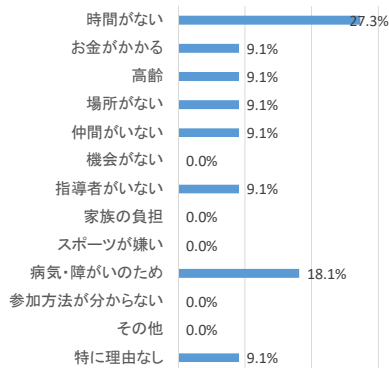
- ・視覚障害の人は交通手段に加えて、指導者の確保に不便を感じている
- ⇒ 介助もしながら指導もできる人材は極めて少ないため、育成の必要性がある

③ 聴覚の障がい

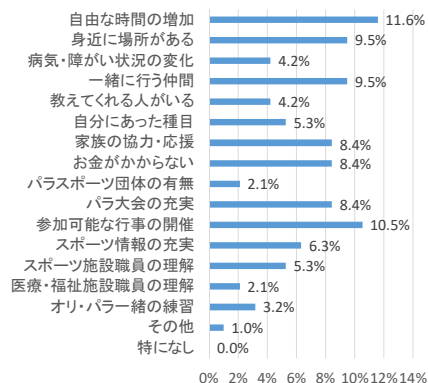
スポーツをする際の課題(問8)



スポーツをしない理由(問9)



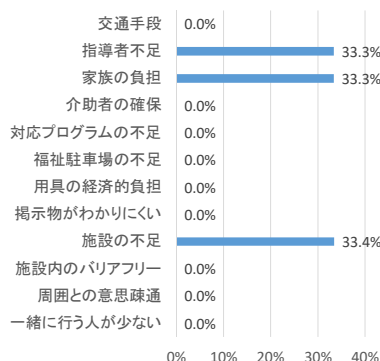
スポーツを始めるには(問11)



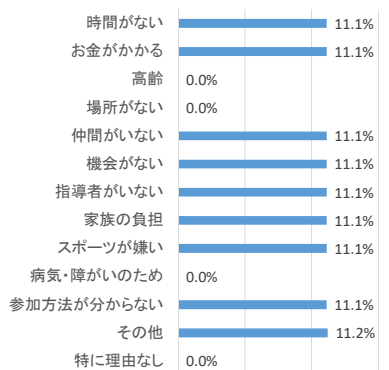
- ・周囲との意思疎通に不便を感じている
⇒施設利用のための情報についても音声によらない方法が必要である
- ・病気・障がいよりも時間がないことを理由にスポーツをしない人が多い
- ・新たにスポーツを始めるために、参加可能な行事の開催を求める意見が多い

④ 精神の障がい

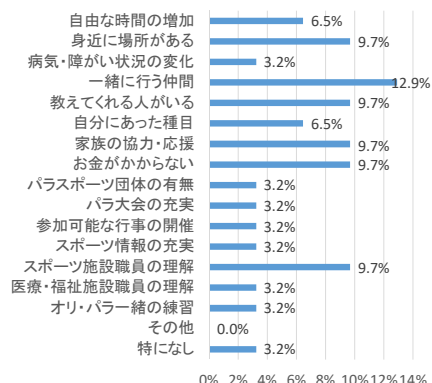
スポーツをする際の課題(問8)



スポーツをしない理由(問9)



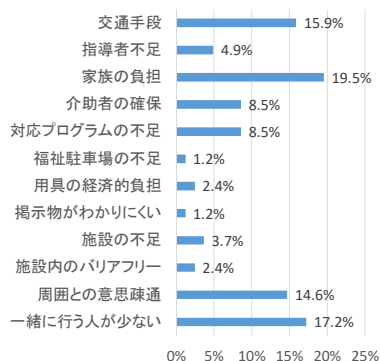
スポーツを始めるには(問11)



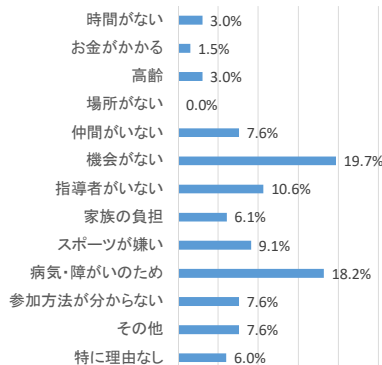
- ・他の障がい種別よりもスポーツ施設職員の理解を求める意見が多い
- ・家族の協力・応援や負担がスポーツをする際の課題になっている

⑤ 知的障がい

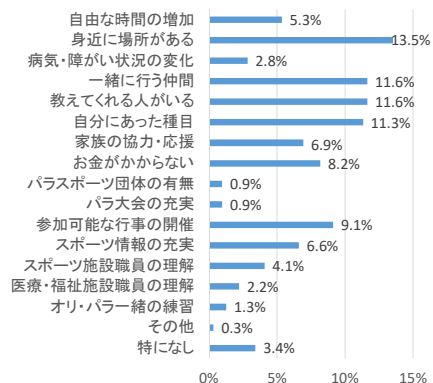
スポーツをする際の課題(問8)



スポーツをしない理由(問9)



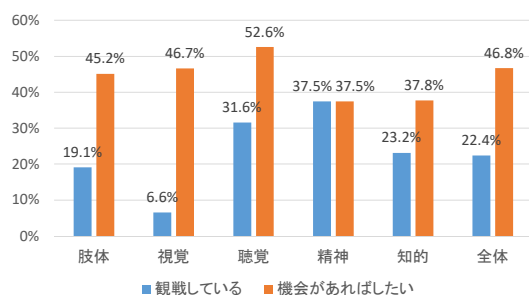
スポーツを始めるには(問11)



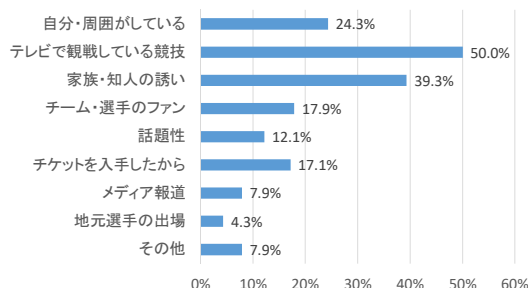
- ・スポーツをする際の課題として家族の負担を挙げる人が多い
- ・他の障がい種別よりも機会がないことを理由にスポーツをしない人が多い

スポーツを観る

スポーツ観戦率(問12)

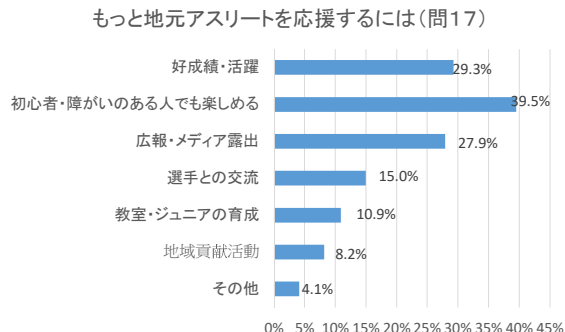
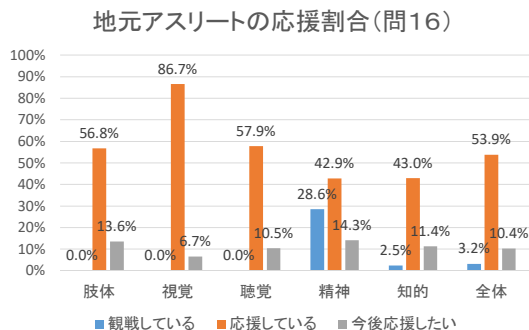


観戦したきっかけ(問15)



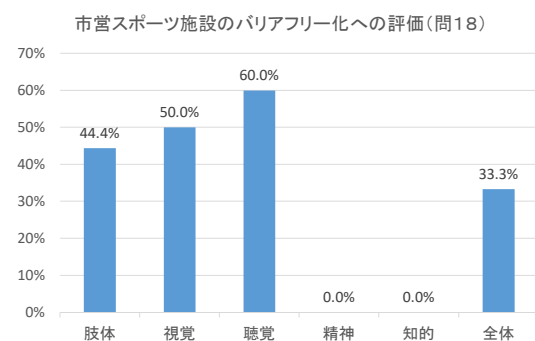
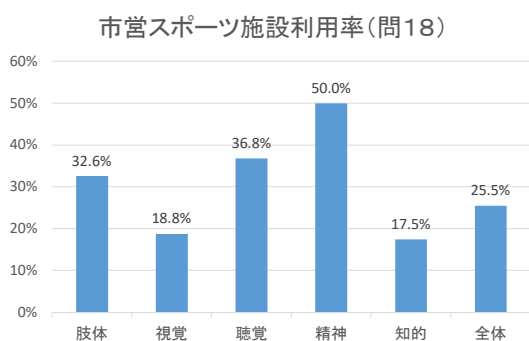
- ・観戦している人は約2割にとどまるが、約半数が今後観戦したいと考えている
⇒車いす等で観戦可能であることを知らなかったとの意見も複数あり、障がいのある方への情報が不徹底である可能性が高い
- ・障がいの有無に関わらず、観戦のきっかけはテレビで観戦している競技である、家族・知人からの誘いが多い

地元アスリートの応援について



- ・半数以上が地元アスリートを応援しているが、観戦にいたっているのはわずかである
- ・アスリートの活躍やメディア露出よりも初心者・障がいのある人でも楽しめる要素が応援するきっかけになる

市営スポーツ施設について



- ・市営スポーツ施設の利用率は、障がいの有無であまり変わらない
- ・バリアフリー化を望む箇所としては、トイレ、更衣室、入口・玄関が多い
- ・視覚障害の人は階段・エレベーター、精神障害の方はトレーニング室や競技エリアに不便を感じている

バリアフリー化を望む設備(問20)

